

03

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第3回地域夢・未来カフェ in 明峰

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため、「第3回地域夢・未来カフェ in 明峰」が開催されました。

日時：2013年1月29日（火）19:00～21:00

場所：明峰公民館

参加人数：市民21名＋市WGメンバー2名

当日のスケジュール

- 19:00 開会
- 19:05 当日スケジュール説明・前回のふりかえり
- 19:10 テーブルワーク（活動案のとりまとめ）
- 20:30 グループ発表
- 20:55 今後の流れの説明
- 21:00 閉会

当日スケジュール説明・前回のふりかえり

開会のあいさつの後、当日スケジュールの説明と第2回カフェのふりかえりがありました。第2回の議論を引き続き行い、最終的な活動案にとりまとめていくことの確認が行われました。



テーブルワーク～グループ発表

各グループのテーマ

- Aグループ：地域活動に3世代が参加しやすい安心なまちにする
- Bグループ：高齢者などが移動しやすいまちにする
- Cグループ：リタイア世代を活かしたまちにする
- Dグループ：緑や公園が充実したまちにする

テーブルワークでは、第2回に引き続いて活発な議論が行われ、最終的な活動案がとりまとめられました。できあがった活動案については、各グループから全体に向け発表しました。

Aグループでは、住民が集まる居場所づくりなどについて、Bグループではバス会社への働きかけや各主体の役割などについて、Cグループでは、人材発掘のための講演会開催などについて、そしてDグループでは、公園の機能分類や地域として取り組めることなどについての話し合いが行われました。また、地域分権制度のあり方等についても話し合われ、発表されました。



Aグループ 地域活動に3世代が参加しやすい安心なまちにする

○居場所づくりについて

- ・拠点施設がない
- ・空き家や自治会館の空き室などを活用する
- ・宝塚市の「ほっこり庵」のようなもの

○地域分権の活動主体

- ・コミュニティ、自治会、地区福祉委員会など
- ・活動主体をどれくらいの規模にすればよいか

【コミュニティ】

- ・全ての活動団体と繋がっている
- ・支店長役（調整役）
- ・参画を促しまとめる

【自治会】

- ・生活に密着し、きめ細かい動きをする
- ・すべてに自治会が関わらないといけない
- ・活動主体は自治会にするべきである

○地域のまとまりについて

- ・小学校区全体でできることは？
 - ・地域差をどうまとめていくのか
- ⇒単独行事や大きい行事を区別して担当

○場所について

- ・坂道が多いなど地域差がある
- ・明確な居場所（拠点）をつくる

○地域担当職員について

- ・地域の現状を聞こうとしてくれる人
- ・地域に入ってきてくれる人

○その他（地域分権）

- ・予算チェックなどの監査機能が大事である
- ・お金の管理は身内ではダメ（ここで行政）

Bグループ 高齢者などが移動しやすいまちにする

○バス会社への働きかけ

- ・23:30頃まで乗れるようになった
- ・市民のニーズにあったバス路線が必要
- ・路線ルートを工夫する
- ・明峰地区は坂の多いところである

○協議主体

- ・湯山台、鶯台、萩原台など8自治会
- ・8つの自治会では課題がさまざまである
- ・バスの話は明峰をまとめやすい

○連携した取組

- ・アンケートで情報収集する
- ・モニターを募って情報収集する
- ・病院、スーパー、行政が協力して送迎バスを出す
- ・様々な企業が協力して無料送迎バスを出す
- ・行政は協議の場を設定する

○高齢者へのサポートという主旨

- ・活動主旨を広く知ってもらうことが大切である
- ・全体的にPRをする

○その他の取組

- ・湯山台での活動
- ・買い物難民が出ないようにする取組
- ・4月から朝市を利用し、商品配達する
- ・ボランティアスタッフによる活動
- ・自治会の事業として実施する
- ・やまびこ会の活動をもっとPRする

○行政

- ・テントなどの備品の提供
- ・企業などとの協議の場の設定

Cグループ リタイア世代を活かしたまちにする

○活動案

- ・地域活動に理解ある人材の発掘

○講演会（手段）

- ①全体のお話（小玉先生？）
 - ②具体的な活動の話、体験談など（地域の人、当事者）
- ・継続して複数回行う、年に1回は必ず行う
 - ・コミュニティ推進協議会が主体になって行う
 - ・プロジェクトチーム、企画委員会が案をあげる
 - ・場所は明峰公民館
 - ・経費は講師料、チラシ、デザインなど

○地域の活動メニュー

- ・やまびこ会
- ・体育、文化、安全、広報、環境などの
コミュニティの専門部会
- ・各種団体（自治会、地区福祉委員会など）
- ・趣味サークル（社交ダンス、カラオケなど）

○参加者へのアンケート

- ・参加してみてどうだったか、興味は出たか？

○参加者集め

- ・チラシの工夫
- ・5,000世帯への配布方法 ⇒ 各戸へ配布
- ・住民の意向調査のためにアンケートを兼ねる

○スケジュール（H25年度）

- ・企画委員会発足
- ↓
- ・タタキ台作成
- ↓
- ・コミュニティで承認
- ↓
- ・実行委員会
- ↓
- ・第1回講演会開催

Dグループ 緑や公園が充実したまちにする

魅力的な公園を！

○進め方について

- ①30の公園の機能を分類する
- ②重点的に利用する公園を選定する
- ③使い勝手のチェック、使い方の方向性を検討する
- ④1.地域でできること
 - ・公園清掃のボランティア
 - ・公園のパトロール
 - ・危険箇所の連絡
 - ・近所との連絡
- 2.市に依頼または市と協働すること
 - ・ひさしをつける
 - ・時計を設置する
 - ・遊具の必要性、安全性の確認
 - ・防犯カメラの設置
 - ・公園の使い方のルールづくり

⑤予算化

○話し合いの場のポイント

- ・様々な世代の意見を反映する
- ・非自治会員をどう巻き込むか
⇒子どもをきっかけに公園づくりに呼び込む

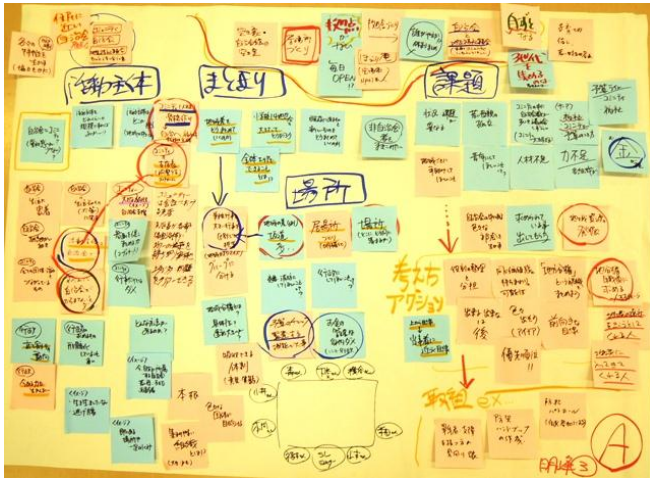
○予算について

- ・物品補助よりも金銭がよい
- ・お金の繰越ができるとうよい

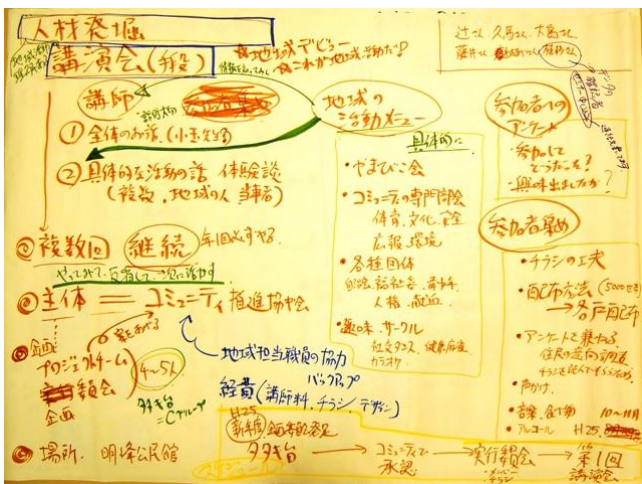
○地域担当職員について

- ・すぐに動いてくれる人
- ・アイデアのある人
- ・コミュニケーションスキルのある人
- ・課題に沿った専門性のある職員

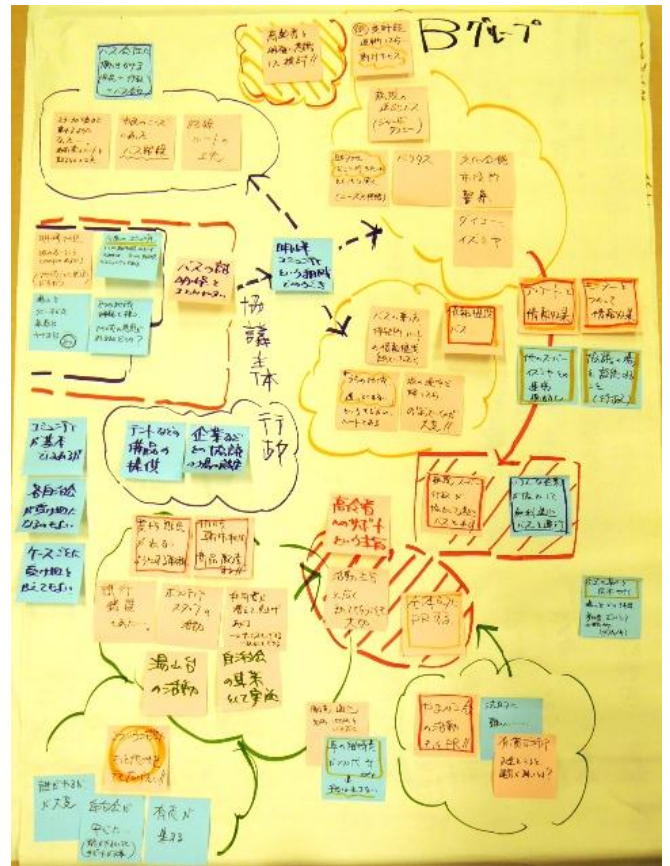
Aグループ 地域活動に3世代が参加しやすい安心なまち



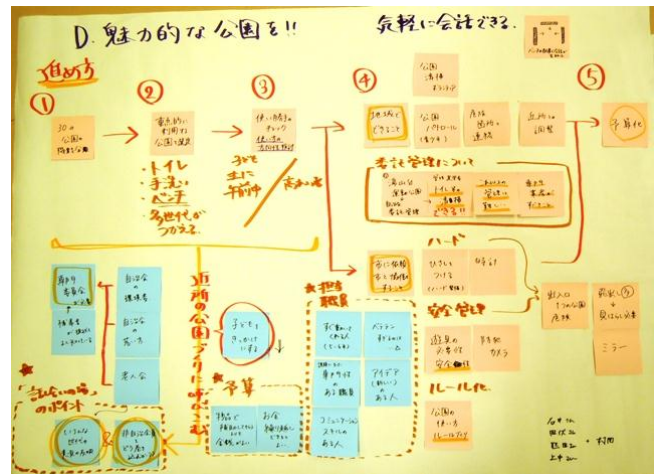
Cグループ リタイア世代を活かしたまち



Bグループ 高齢者などが移動しやすいまち



Dグループ 緑や公園が充実したまち



各グループの模造紙画像